

公益社団法人仙台市シルバー人材センター  
「中期経営方針2026」

＜策定の背景＞

公益社団法人仙台市シルバー人材センター（以下「センター」という。）では、さまざまな変化に柔軟に対応できるよう3年間ごとに中期経営方針を策定することとしております。現在の中期経営方針の計画期間が終了するにあたり、あらたな中期経営方針を策定いたしました。センターの果たすべき役割、取り巻く状況を踏まえ、さらなる事業拡大と安定した運営体制の構築に向けて、その内容に基づき事業を推進いたします。

＜策定の趣旨＞

団塊世代の高齢化が進み、労働力不足が本格化する「2030年問題」が社会・経済に深刻な影響を及ぼすことが懸念されています。少子高齢化の進行や地域社会を取り巻く環境の変化により、高齢者の社会参加と就業機会の確保に対する期待は、ますます高まりつつあります。

シルバー人材センターは、高齢者に働く機会の提供を通じて、生きがいの充実と地域社会への貢献を図るという重要な役割を担っており、その使命を将来にわたり着実に果たしていくことが求められています。今後より一層、高齢者が社会を支える存在として活躍できる場となることが期待されています。

このような状況を踏まえ、センターが安定的かつ持続的に事業を運営していくためには、短期的な対応にとどまらず、中長期的な視点に立ち将来を見据えた計画が不可欠です。

センターの使命やめざすべき方向性を明確にするとともに、将来にわたり必要とされるシルバー人材センターを築いていくため、「中期経営方針2026」を策定します。

＜策定の内容＞

事業拡大と安定した運営体制の構築に向けためざすべき4つの方向性を柱に、それぞれの施策について具体的に取り組み、センターの事業を推進します。

【めざすべき4つの方向性】

1. 就業による高齢者の生きがいの充実を推進します
2. 地域社会のニーズに応え、地域社会の活性化に寄与します
3. 会員の主体的な参画による組織運営をめざします
4. 持続可能なセンターの運営を図ります

【期 間】

令和8年度～10年度（3年間）

## <めざすべき4つの方向性の施策>

### 1. 就業による高齢者の生きがいの充実を推進します

シルバー事業の原点である、会員が就業を通じた生きがいの充実が得られるための方策を、以下(1)(2)(3)(4)に取り組み、事業を推進します。

#### (1) 入会促進・会員拡大に努めます

会員の拡大を図るには、魅力あるセンターづくりが重要となるため、会員のさまざまな年齢層や考え方を想定・検証し、女性を含めた多くの会員が安心して長く活躍できるよう、以下の施策①～⑤に取り組み、入会促進・会員拡大に努めます。

#### 《施策》

- ①多様化する高齢者のライフスタイルへの対応
- ②効果的なイベント等実施
- ③女性会員の拡大強化
- ④年齢がいくつになっても活躍できる体制・環境の検討
- ⑤会員継続メリットの充実

#### (2) 受注拡大・多様な就労開拓に努めます

これまでの仕事に加え、会員の就業意欲を喚起する新たな職種や会員の経験を把握し特技や資格を活かせる就業開拓と併せて、就業体制の構築・強化を目的に、多くの会員が就業に関われるよう以下の施策①～③に取り組み、受注拡大・多様な就労開拓に努めます。

#### 《施策》

- ①就業意欲を喚起する新たな仕事の検討及び就業開拓
- ②増加傾向にある女性や高齢層の会員が活躍できる就業開拓
- ③デジタルに関連する就業等、会員の経験を活かし多様な就業に対応できる就業体制の強化

#### (3) 安全・適正就業の推進を図ります

安全・安心なセンターの事業確立を目的に、継続して安全意識の徹底と意識の高揚を図りながら、リスクを想定した安全対策を強化します。また、併せて、就業に係る適正就業については、法律や制度を適切に守り、会員が安心して就業することができるよう以下の施策①～②に取り組み、安全・適正就業の推進を図ります。

#### 《施策》

- ①安全・適正就業対策の強化
- ②健康維持・増進

#### (4) 認知症に関する正しい知識及び理解の促進に努めます

認知機能の低下により不安を感じたことのある会員への支援や、認知機能の低下の予防等を効果的に進めていくため、以下の施策①～②に取り組み、認知症に関する正しい知識及び理解の促進に努めます。

##### 《施策》

- ①関係機関と連携した新たな研修体制の構築
- ②認知機能が低下しても活躍できる環境の検討

## 2. 地域社会のニーズに応え、地域社会の活性化に寄与します

シルバー事業が存続するためには、地域社会の実情や必要としていることを調査・分析し、地域社会への貢献度が高い仕事の検証など、会員の多様な就業機会の確保につながるよう、地域社会のニーズに応え、センターがより活性化するための方策を、以下(1)(2)(3)(4)に取り組み、事業を推進します。

#### (1) 地域社会（高齢者・子育て世帯）からの支援ニーズに応えます

地域で支援が必要とされる職種について、高齢者がこれまでの経験を活かしながら身近に対応できる内容を検証し、女性会員による就業機会の拡大や人材の育成・確保、受注・就業体制を構築するなど、以下の施策①～②に取り組み、地域社会（高齢者・子育て世帯）からの支援ニーズに応えます。

##### 《施策》

- ①地域社会の身近な困りごとに対応できる就業体制の強化
- ②就業に必要とされる職種における新たな研修体制の構築

#### (2) 人手不足分野を中心に地域社会（事業者）からの人材ニーズに応えます

地域における人手不足である職種や業態等について情報を収集し、会員の就業につながる職種について検証するとともに、就業開拓と併せて会員の確保に努めるなど、以下の施策①～③に取り組み、人手不足分野を中心に地域社会（事業者）からの人材ニーズに応えます。

##### 《施策》

- ①地域における多様化する職種や業態等の把握と分析
- ②人材育成や会員の経験を活かした職域拡大と就業体制の強化
- ③業界・経済団体等と連携を図ることによる会員確保

### (3) サービス水準の向上を推進します

センターが活性化・拡大するためには、より地域社会に信頼される対応が必要になる。活動するすべての会員がセンターの一員としての意識を持ち、事務局と一丸となって地域社会の要望に応えることができる体制を整える必要があることから、以下の施策①～③に取り組み、センターの事業のサービス水準の向上を図ります。

#### 《施策》

- ①会員として就業する際の意識向上への取り組み
- ②地域のニーズ把握による受注体制の強化
- ③仙台市生涯現役サポートセンター事業の推進

### (4) 社会参加活動の推進を図ります

地域社会との信頼関係を確立するためには、地域での社会貢献や課題解決につながる活動を通じて結びつきを強化し、センターが地域社会の一員として存在意義を高める必要があることから、以下の施策①～②に取り組み、社会参加活動の推進を図ります。

#### 《施策》

- ①地域社会に貢献できる新たな体制の構築
- ②仙台市と連携し、地域の課題解決につながる地域貢献の検討

## 3. 会員の主体的な参画による組織運営をめざします

シルバー事業における基本理念「自主・自立、共働・共助」のもと、会員自らの生きがいの充実や社会参加を希望する高齢者による自主的な団体であるという認識を再確認するとともに、会員の主体的な参画による組織活動を充実させるため、以下の(1)(2)に取り組み、事業を推進します。

### (1) 会員自身が従来以上にセンターの事業に積極的にかかわれる方策を検討します

会員を主体とした組織活動のあり方について、以下の施策①～②に取り組み、会員自身が従来以上にセンターの事業に積極的にかかわれる方策を検討します。

#### 《施策》

- ①シルバー事業の社会的役割の明確化による、会員の活動意欲向上
- ②会員の自主的な活動の推進に向けて、新たな体制の検討

(2) 会員によるセンターの事業運営参画を推進します

会員がセンターの事業運営に引き続き積極的に参画し、事業運営の活性化と強化を図るため、以下の施策①～②に取り組み、会員によるセンター事業運営参画を推進します。

《施策》

- ①会員が引き続き理事会・各委員会部会等に参画できる体制の推進
- ②女性会員の事業運営に係る役員等への登用を進め、事業運営の活性化を推進

**4. 持続可能なセンターの運営を図ります**

安定的なセンターの事業運営を継続するためには、センターの事業の拡大に対応できる事務局及び組織体制の強化を図り、さらなる効率的な運営を推進する必要があります。また、国の施策や社会制度の変化に柔軟に対応できる組織体制の強化など、今後も持続可能なセンターの運営を図るため、以下の(1)(2)(3)(4)に取り組み、事業を推進します。

(1) 効率的な運営に努めます

事務局体制強化に加え、理事会・各種委員会・部会等の活性化を図るため、会員による運営参画を積極的に推進するなど、以下の施策①～③に取り組み、効率的な運営に努めます。

《施策》

- ①理事会、各種委員会・部会等の組織体制強化
- ②業務の効率化の推進による事務局体制強化
- ③事務局職員のスキルアップへの取り組み

(2) デジタル化を推進します

センターの事業運営における効率的な業務処理を一層推進するため、以下の施策①～②に取り組み、デジタル化を推進します。

《施策》

- ①デジタル技術の積極的な導入・活用による業務効率化
- ②会員のデジタル環境活用推進

(3) 安定的な財務基盤の構築に努めます

引き続き、就業機会の拡大による自主財源の確保や、国・仙台市からの支援を受けられるよう努め、以下の施策①～②に取り組み、安定的な財務基盤の構築に努めます。

《施策》

- ①積極的な就業機会の拡大による自主財源の確保
- ②持続可能な運営体制の構築に向けた国・仙台市への支援要請の継続

#### (4) センターイメージの向上に努めます

センターの事業を拡大するためには、魅力あるセンターを確立して、より良いイメージを発信することが重要となります。今後、展開する事業内容の効果的な方法・情報発信を検討するなど、以下の施策①～③に取り組み、センターイメージの向上に努めます。

##### 《施策》

- ①受注増、会員増につながるセンターの事業の効果的な広報活動の検討・推進
- ②これまでのイメージからの脱却及び転換
- ③事業内容の効果的な情報発信

#### <目標数値>

目標数値については、4つの項目を設定し、令和8年度から令和10年度まで設定し、目標達成をめざすこととします。

設定した目標数値については、毎年、達成率を示しながら、項目ごとに進捗状況を踏まえ、方針に基づいた事業を展開します。

##### 【中期経営方針 目標数値】

	令和8年度	令和9年度	令和10年度
会員数(人)	3,100	3,200	3,300
粗入会率(%)	0.91	0.92	0.93
契約金額(円)	12億3千万	12億6千万	12億9千万
就業率(%)	77.0	77.5	78.0

※シルバー派遣事業含む